

「学校の通知票」

おはようございます。1月の終わりには大きな行事が相次ぎました。1年生は社会体験チャレンジとして職場体験を行いました。日頃、学校で受ける授業と違って、それぞれの職場で朝から仕事をする日々は新鮮だったと思います。働く喜びや大変さを経験して職業に対する意識が高まったことと思います。2年生は2泊3日のスキー林間学校で新潟県の塩沢へ行ってきました。みなさんの日頃の行いが良かったのか直前に雪が降って最高のコンディションでスキー実習が出来ました。そして誰一人脱落者もなく最終日には全員が滑れるようになりました。生活面でもしおりを見て時間通り行動出来たり、お互いに注意し合ったりしながらしっかりとした集団生活を送ることが出来ました。3年生は22日をスタートに私立高校の入試がありました。前日の集会では先生方が応援してくれたようで、力を発揮できたことと思います。

様々な経験を踏まえて、いよいよそれぞれがまとめの時期に入るわけですが、今日は昨日配った学校だよりも書いた「学校の通知票」という話をします。

みなさんやみなさんの保護者の方々に協力してもらって「学校改善アンケート」難しく言うと「学校評価」を実施しました。その結果については学校だよりに掲載しましたが、1年前すなわち今の3年生が2年生、2年生が1年生の時に比べて、生徒のみなさんも保護者の方々も大変高い評価をしてくれました。

具体的には、去年から変えた学校教育目標「自立・貢献・信頼」の実現に向けた学

校は努力していると答えた人が約9割、学校が安心して生活できる場となっているかについても9割以上の人になっていると答えてくれました。学力向上や決まりを守って規律ある生活が出来ているかという問いに対しても出来ていると答えてくれた人が大幅に増えました。

この学校評価のアンケートの結果は学校にとって見ると学校の教育に対する「通知票」のようなものです。みなさんが成績が上がるとうれしいように、やっぱり結果がいいとうれしいし、先生方のやる気も上がります。これまで何度も話してきましたが、今年度、学校がいい意味で変わって良くなったことが数字で表れたとすればみなさんにも喜んでほしいし、自信を持っていいと思います。

ただし、みなさんの通知票もそうですが、数字だけ見て一喜一憂するのではなくその結果を踏まえて次に繋げることの方が大切です。平成27年度はまだ2カ月あります。これから最後の仕上げをきっちりすることが必要です。3年生は自治委員会が中心となって考えた「312人の行動宣言～MIDORIの卒業プロジェクト～」素晴らしいですね。ぜひ卒業までに朝霞一中に残せるものを探ってください。

1・2年生は、その3年生の後ろ姿から学ぶと同時に冒頭で話したようにスキー林間や職業体験で得た経験をもとに次のステップに向けてさらに力をつけましょう。

そして今回の「学校の通知票」の結果に満足することなく、生徒朝会で各委員会の委員長が良く言うように「さらに良くするためにはどうしたらいいか」を考えて先生と生徒と一緒に頑張っていきましょう。

終わります。